

令和3年度

仙美里小規模多機能型居宅介護事業所

「陽だまりの里」

サービス評価（外部評価）

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和3年11月15日
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	古寺 友美・東海林 麻美・相馬 祐子・小林 美代子 佐々木 久美子

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？		6	0	2	8
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	0	9	1	0	10
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	0	7	1	1	9
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか？	2	6	1	1	10
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1	8	0	1	10

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	
<ul style="list-style-type: none"> 毎月のお便り配布の継続と配布地域のさらなる拡大 アセスメントシートを活用し担当職員が支援方法や検討など相談できる体制を作る 	
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない
<ul style="list-style-type: none"> 毎月のお便り発行は出来ている。今後、3自治体への拡大も実施 アセスメントは活用出来ているが、更新されていない所もある 	
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	
<ul style="list-style-type: none"> ある情報については目を通し支援している 事前の情報で通所の目標は共有している 毎月のお便りは出来ている アセスメントを通し、支援方法等相談は職員間で行えた 	
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	
<ul style="list-style-type: none"> お便り配布に関わっていない。支援方法や検討などを相談しても統一した支援ができていない アセスメントシートを見て検討しているのは一部の職員だけだと思われる。そのような相談をしてくる職員はあまりいない 便りの発行が間に合わず遅れる事はあった。配布地域の拡大まで実施出来ていないが、利用者家族には配布できている 便りの担当に負荷がかかっているため、検討が必要と思う アセスメントシートはあるも更新が上手く出来なかった 	

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 家族に会う事がほぼ無いので、ある情報を他の職員に聞くしかない状況 利用者に対して必要としている支援の情報がない、十分な支援や検討を行えていなかった 家族の意向が大きく、本人の意向が聞けないケースもある 連絡ノートを使い方が十分でない。特に新規の利用者は通い時の様子が家族に十分に伝わっていない 	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

<ul style="list-style-type: none"> 毎月のお便り配布の継続と配布地域のさらなる拡大（継続） アセスメントシートを活用し担当職員が支援方法や検討など相談できる体制を作る（継続）
--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月15日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 古寺 友美・東海林 麻美・相馬 祐子・小林 美代子
佐々木 久美子

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		4	4	1	9
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		2	4	4	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		5	4	1	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		6	3	1	10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		5	4	1	10

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	
・利用者の具体的な目標に対して、チームでその人に関わっていく	
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている ⑩:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない
・利用者の目標を聞き、見える場所に掲示する事が出来ていなかったが、個別に対応出来る事は実施出来ていた	
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	
・利用者に個別の関わり話をし、話して頂くよう心掛けている ・たくさんの利用者に対して関わる時間を増やした ・提供した事に興味を持たれた方には一緒にやっている	
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	
・目標が分からない。ケアプランがないから ・認知が進んでいるので、付いていないとできない方が多く、関わりが希薄なことも多々ある ・利用者の目標を聞き、見える場所の掲示する事が出来ない。 ・個別に対応出来る事は実施していたが、不十分な所が多かった。継続できていなかった	

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
・目標が分からないため、目標に向けての統一した支援ができない。ケアプランがないため ・利用者の意欲の低下もみられ、何かをしたいという思いが無い人が多い ・すべて出来ていないと思います ・各利用者の目標を理解、把握できていないため、目標達成のための支援ができていない	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

・利用者の具体的な目標に対して、チームでその人に関わっていく (継続)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月15日

3. 日常生活の支援

メンバー 古寺 友美・東海林 麻美・相馬 祐子・小林 美代子
佐々木 久美子

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	6	1		9
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		3	3	4	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	6			10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		5	3	2	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	6			10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	7			10

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	
	・記録を漏らさず書くことの継続と少しの変化にも気づき、それに対しての支援と情報共有をしていく
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている ⑩:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない
	・特変等、ミーティング、リーダー会議、全体会議で共有は出来ていた
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	
	・気づいた情報は記録に書き、伝えるようにしている ・記録にない事もあるが、情報として後で聞くことでフォロー ・特変等、ミーティング、リーダー会議、全体会議で共有は出来ている
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	
	・記録を読まないで把握できていない職員もいて共有できていない ・記入漏れなどあったり、伝え忘れなどがある ・特変等、気づいた職員が記録する事が望ましいがリーダー任せになってしまっている ・記録が読まれていない事によって支援方法が違ってしまう内容になる事があり、コミュニケーション不足と感じる

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
	・以前の暮らし方の情報はないので本人からの話を聞く ・精神的なことは不明の事もあると思う。言わない ・ゆっくりと個別に関わり、話を聞く事が不十分である ・食事、入浴、排せつの基本介助がこれでいいのか、と思う時がある

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

・報告、連絡、相談の徹底をする

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月15日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 古寺 友美・東海林 麻美・相馬 祐子・小林 美代子
佐々木 久美子

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?		1	3	5	9
② 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		2	6	2	10
③ 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		6	2	2	10
④ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4	4	2	10
⑤ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		3	3	4	10

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	
・自治会の行事にすすんで参加し、地域の人や環境を知る	
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない
・コロナの関係で行事参加は殆ど出来なかった	
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	
・来所する自治会の方を覚えるようにしている ・本人からの聞き取り程度で変化は聞いており、報告している ・地域の方々より野菜などを頂き、その時交流はできている	・自治会の花壇の手入れ ・毎月の廃品回収の協力は出来ている。
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	
・自治会の行事に参加していない ・コロナで行動制限がある ・地域の人との関わりが全くなのでできていない	

III. 現状の取組みについて

I-①~④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
・地域の方や家族と接する事があまりない ・本人の生活スタイルも情報がないから分からない。また地域の資源があるのかが理解できていない。行事も無いのでこれから情報を集めたい ・利用者の以前の生活歴、人間関係を深く理解できていない ・散髪など馴染みの美容室に行けていない。美容師に来てもらう事がほとんどになっている	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

・自治会の行事にすすんで参加し、地域の人や環境を知る (継続)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月15日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 古寺 友美・東海林 麻美・相馬 祐子・小林 美代子
佐々木 久美子

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		7	1	1	9
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	4	2	2	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	4	2	1	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	6		1	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	5	1	1	10

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	
	<ul style="list-style-type: none">・家族との情報を共有し利用者が住み慣れた地域での生活が継続できるよう支援していく。・利用者が地域での活動や行事参加などができるように家族や地域の方に働きかけていく。
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている ⑥:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない
	<ul style="list-style-type: none">・サービスを利用する事で自宅での生活が継続出来ている
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	
	<ul style="list-style-type: none">・家族の希望に合わせた支援はできている・家族との情報共有は連絡ノートや送迎時にできている・家族に予定で急に泊まることあるが対応している・サービスを利用する事で自宅での生活が継続出来ている
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	
	<ul style="list-style-type: none">・家族との情報共有ができていない・家族と会う機会がない・利用者と家族との関係で、思いが合わず上手くいかないケースもある

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・本人のニーズに応じての支援ではない・ずっと泊まっている方と家族に深く話をしていないので、なかなか話が進まず、どんどん泊まりが増えているのに、必要な「宿泊」も大変になってきている・施設内での時間が多く、ストレスとなっていたのでは、と思う・休みが続いたりすると、記録を確認漏れしている時があるので気を付ける・職員によっては、経験年数、経験内容、年齢を違うため、統一した柔軟な支援は出来ていない

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

<ul style="list-style-type: none">・家族との情報を共有し、利用者が住み慣れた地域での生活が継続できるよう気付きや変化を見逃さず支援していく
--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月15日

6. 連携・協働

メンバー 古寺 友美・東海林 麻美・相馬 祐子・小林 美代子
佐々木 久美子

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？		1	2	5	8
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		1	1	7	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		1	1	7	9
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	1	2	6	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？			1	9	10

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	
・地域の相談窓口として地域を知り、地域での困りごとなどを吸い上げていく体制作りをしていく	
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている B:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない
・コロナの関係で地域との交流が出来ず、広報活動もまだまだ不十分であり、地域に出向く必要もあったと思う	
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	
・事業所でのお便りがでている ・春の花壇の花植えには職員が参加している ・広報や施設のお便りでの声掛けを行っている	
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	
・お便りなど関わっていない ・コロナで交流なし ・地域の方とお会いする機会がない ・ウェルカムボードも活用してるが、地域に出向く必要もあった	

III. 現状の取組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
・コロナ禍で地域との関わりがなかった。避難訓練は参加させてもらえなかった ・会議等に参加していない ・保育所も無くなり、子供達と触れ合うことができない	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

・地域の相談窓口として地域を知り、地域での困りごとなどを吸い上げていく体制作りをしていく（継続）
--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月15日

7. 運営

メンバー 古寺 友美・東海林 麻美・相馬 祐子・小林 美代子
佐々木 久美子

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	4	1	1	9
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	5	4		10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6	3		10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		3	4	3	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?		3	3	4	10

II. 前回の改善計画に対する取り組み状況

① 前回の改善計画	・会議には全員意識を持って参加し、意見するときは提案する形で行う
② 前回の改善計画に対する取り組み結果	A:よくできている ⑥:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない ・会議の在り方について、職員の意識も変わってきている。発言も増えている
③ 前回の改善計画に対する取り組み結果について、できている点	・利用者のための意見を言う ・苦情は地域からは来ていないので分からない ・意見や苦情は皆に共有し、どうしたら良いか考えていくように話している ・会議では一つでも多く発言しようと意識して参加している
④ 前回の改善計画に対する取り組み結果について、できていない点	・全員意識を持っての参加ではない ・意見がバラバラな事がある ・聞く、話す中で伝え方が苦手と感じる。あとからゆっくり考えるとこういう伝え方もあったと反省する事が多い ・意見を言う人が限られていたり、積極的に話せない ・他者の意見に対し、発言しにくい時がある

III. 現状の取り組みについて

I-①～④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
・地域の方との関わりがあまりないので、意見など聞く機会がない ・意見を言っても、そのままの状態になっている事がある ・地域に必要とされる施設として、事業所のあり方について考えるべき事がまだまだ不足している ・今年はコロナの関係で夏祭り、茶話会も出来ていない	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

・会議には全員意識を持って参加し、意見するときは提案する形で行う (継続)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月15日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 古寺 友美・東海林 麻美・相馬 祐子・小林 美代子
佐々木 久美子

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		6	2	1	9
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか		6	1	3	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		3	3	4	10
③	地域連絡会に参加していますか		1	2	6	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		5	3	1	9

II. 前回の改善計画に対する取組み状況

① 前回の改善計画	
	<ul style="list-style-type: none">・研修会にすすんで参加する・ヒヤリハットで繰り返す事例については、職員全員に周知し意識づけを継続し改善後に評価をする
② 前回の改善計画に対する取組み結果	A:よくできている ⑩:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない
	<ul style="list-style-type: none">・ヒヤリハットでは気づきの部分で多く上がり、全体に周知出来ているが、繰り返す事例もある。評価する事が大事である・コロナの関係で研修も少ないが、参加は出来ていた
③ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できている点	
	<ul style="list-style-type: none">・ヒヤリハットの事例は職員に周知できている・ある研修会は参加している・ヒヤリハットでは気づきの部分で多く上がっている
④ 前回の改善計画に対する取組み結果について、できていない点	
	<ul style="list-style-type: none">・ヒヤリハットで繰り返す事例、評価していない・ヒヤリハットの意識付けは、発見した人が書いているが、犯人捜しする訳ではないし、責めないのが当事者が書くものだと思う・コロナであまり実習などの研修などはできていない・薬関係のヒヤリハットが減らないと思うので、服薬情報確認し、介助時は落ち着いて服薬確認する

III. 現状の取組みについて

I-①~④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・地域の連絡会に参加する機会がない・リスクマネジメントなどは今まで以上に気を付け取り組むようにしていきたい・資格、キャリアアップへの研修はできていない・スキルアップのための勉強が不足している

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

<ul style="list-style-type: none">・研修会にすすんで参加する(継続)・ヒヤリハットで繰り返す事例については、職員全員に周知し意識づけを継続し改善後に評価をする(継続)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年11月15日

9. 人権・プライバシー

メンバー 古寺 友美・東海林 麻美・相馬 祐子・小林 美代子
佐々木 久美子

I. 個人チェック項目集計

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	4		1	9
①	身体拘束をしていない	8	1		1	10
②	虐待は行われていない	8	1		1	10
③	プライバシーが守られている	5	2	1	1	9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	3	1	1	10
⑤	適正な個人情報の管理ができています	3	5	1	1	10

II. 前回の改善計画に対する取り組み状況

① 前回の改善計画	
・スピーチロック(言葉での抑制)を意識して利用者と接する	
② 前回の改善計画に対する取り組み結果	A:よくできている ⑩:おおむねできている C:あまりできていない D:まったくできていない
・尊厳を持った声掛けを意識して業務している。言葉の抑制に気をつけて接している	
③ 前回の改善計画に対する取り組み結果について、できている点	
・身体拘束はしていない ・利用者が何を求めて必要としているのかを常に考え接している ・座ってて、寝てて → お休みくださいと言葉を変え、抑制ない様、意識している	
④ 前回の改善計画に対する取り組み結果について、できていない点	
・状況によって待ってもらおう声掛けをしてしまう事がある ・忙しいと口調が荒くなる ・手が回らない状況では、スピーチロックを意識して関わっているとは言い切れない部分もある	

III. 現状の取り組みについて

I-①~④、及びその他について改善が必要な点	改善が必要な点と、その理由を記入すること
・整理整頓 ・多忙な時は、言葉掛けが荒くなる事もある。落ち着いて行動するようにする ・後見制度を利用している方が、誰がどの程度利用しているか理解できていない ・事務所がオープンなため、情報管理には気を付けているが、不十分な所もある ・薬の袋など名前が付いたまま捨てている。プライバシーが守られていない	

IV. 次回までの具体的な改善計画 ※II-④、IIIを中心に導き出した結果

・スピーチロック(言葉での抑制)を意識して利用者と接する (継続)

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 本別町社会福祉協議会	代表者	会長 砂原 勝	法人・ 事業所 の特徴	本別町社会福祉協議会が運営する事業所。 本別町市街地からは離れた所に立地している。 地域住民の方々の理解と協力を得ながら運営しており、利用者の方々の住み慣れた地域 で生活していただくという考えのもと、地域密着型の介護保険事業所としてその機能を 担っている。
事業所名	仙美里小規模多機能型居 宅介護事業所 「陽だまりの里」	管理者	管理者 古寺 友美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ Aの項目については今後も事業所自己評価については、運営推進委員に周知した上で意見を募る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所の課題について、情報の共有の機会や、全職員が事業所の改善計画を目にする機会が少なく、意識的に、また具体的に取組むことは出来ていなかった。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所の改善計画を具体的に誰が見てもわかりやすい内容にする。全体会議で職員間で共有し、1カ月毎の一つ改善計画を取り上げ、計画的に達成又は評価できるように取り組んでいく。
B. 事業所の しつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業所内の整理・整頓に努める。また、コロナ禍終息の見通しが立たないため、ICT機器の活用と合わせて、事業所の敷地すべてを活用しながら、閉塞感の無いサービス提供を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務所がオープンスペースであり、収納スペースも少ないが工夫をして、利用者台帳の整理等が行われた。 ・ インターネット等外部との通信に関し、従来はアナログの電話回線により円滑な通信が困難な状況であったが、インターネット回線をモバイル回線に切り替え活用することにより、通信環境がスムーズとなり、事務作業が効率的になった。 ・ タブレット等が活用できる環境の整備が行われ、タブレット端末の活用（ゲーム・動画等）による娯楽の充実、コロナ禍においてもスムーズな面会の実施ができるようになった。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 整理整頓、美化、衛生面を常に心がけ、快適な居場所と居心地の良い事業所作りを意識する。 ・ 通信環境が整ったことにより、事務作業の効率化が図られたことに加え、狭隘な事務室の環境に適応するため、タブレット等を活用し、書類のデジタル化を法人と連携を図りながら進めていく。
C. 事業所と地域の かかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 随時相談を受け付けていることを引き続き事業所だよりで宣伝するとともに、陽だまり喫茶時に小上がりスペースを活用し相談スペースを設ける。 ・ ウェルカムボードの上に相談受付の看板を設置する。 ・ 運営推進会議時に相談件数や内容を報告する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍により、行うことのできない地域との交流を補うため、陽だまり便りでの「相談窓口」の広報やウェルカムボードによる事業所情報の周知やコラムの掲載を行った。 ・ コロナ禍により、陽だまり喫茶の開催は中止せざるを得ない状況であるが、電話や運営推進会議を通し地域の困りごと相談は随時受けている。 ・ 11月に入りコロナの流行が落ち着きを見せているため、感染対策をしっかりと行い12月より陽だまり喫茶（オレンジカフェ）の再開、忘年会の開催により徐々に交流機会を取り戻していく。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き相談体制について事業所だよりやウェルカムボードで周知を図っていく。 ・ 陽だまり喫茶など地域の方が気軽に来れるような内容の検討を行っていくとともに、コロナ禍で陽だまり喫茶が開催できない場合を想定し、タブレット等を使った非接触での相談体制の在り方や、喫茶の実施の検討を図っていく。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ではあるものの、利用者、事業所、地域とのつながりが途切れてしまわないように、ICT 機器を積極的に活用したり、広報等を通じて事業所から発信したり、地域のニーズを把握する工夫を重ねていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により、仙美里元町自治会を含む地域行事は中止となっているため、地域との交流が難しい状況となっている。 ・タブレット端末の導入により、遠隔での面会はスムーズにできるようになった。 ・外出の機会が取れない中、感染対策をしっかりと取った上で、短時間の車での外出や散歩を取り入れることにより、利用者の外出の機会をできる限り増やすようにしている。 ・陽だまり便りや社協だよりにより、今後も事業所の取組みを紹介し、地域へ現在の陽だまりの里の状況を伝える機会を設け、地域とのつながりが途切れないよう広報活動に取り組んでいる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流がコロナ禍により行事等の参加が出来なくても、陽だまり便りでの事業所の取組みを紹介し、地域へ現在の陽だまりの里の状況を伝え、地域とのつながりが途切れないよう広報活動に取り組んでいくとともに、SNS や LINE WORKS、法人ホームページを活用し、事業の実施状況、ご利用者個別の生活状況の発信を検討していく。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も書面開催になる機会があると考えられるが、引き続き、運営推進会議を通して、民生委員、地域住民等と連携しながら、情報共有を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書面又は通常開催により、運営推進委員を通し、情報共有や意見・相談を聞く機会を引き続き設けている。 ・意見や相談等があれば、地域包括支援センターやあんしんサポートセンター等と情報共有を図っている。 ・いただいた相談により、必要時には訪問による状況の把握等を実施した。 ・コロナ禍により、運営推進委員や地域の方を交えた行事等の開催ができなかった。 		<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員の方と情報共有を図り、事業所の取組みや地域での困りごとについても共に協議・検討することで委員の皆様にも事業所の状況や理解が深まるよう取組み、地域に愛される施設を目指していく。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍前と比べて、コロナ禍における防災・災害対策にはどのような配慮が必要かを整理し、事業所単独で防災訓練等を実施しなければならない状況であっても、地域と情報共有しながら、防災・災害対策に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・火災時の避難訓練は屋外で地域協働での訓練を実施することができた。 ・既に策定済である「非常災害対策計画」を見直し、「新型コロナウイルス感染症発生時に係る業務継続計画」と合わせて、策定が要請されている「非常災害対策計画」「避難確保計画」「消防計画」「災害時業務継続計画」を一体的に策定するため、法人に設けられた「災害時等業務継続計画策定委員会」に当事業所からも委員を選出し、今年度中の策定を目指している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・非常災害対策計画、業務継続計画（BCP）を運営推進会議委員の皆様にも周知、そしてともに協議していくことで、実践的な計画にしていく。また、その計画に基づき、まだ未実施である水害を想定した地域協働の避難訓練を計画する。 ・水害等の緊急時には、旧養護老人ホーム等の活用も視野に町と協議を進めていく。

